



スマホなどとの付き合い方を家族で考えてみませんか？



スマホが身近に スマホは、私たちにとってごく身近なものです。でも、こんなに身近になったのは、この10年のことです。日本で最初に iPhone が発売されたのが2008年。そして2011年、ドコモが「スマートフォン」として発売を始めました。10年間で所有率は9割超えです。（13歳～59歳。令和4年総務省「情報通信白書」より）保護者の皆さんも、ほとんどの方がお持ちなのではないでしょうか？

小学生の所有率もどんどん増加しています。今は低学年で15%、高学年で33%の人が持っています。（令和3年ドコモ調べ）泗水小の児童はどうでしょうか？**スマホ36%、タブレット37%、ゲーム機器57%**。（令和3年「心のアンケート」結果より）たくさんの児童が持っているようです。

スマホの利点 スマホ等の利点には「LINEで連絡が便利」「位置情報で家族の場所がわかり安心」などがあり、それが子どもにスマホ等を持たせるきっかけになるかと思います。しかし、別の側面で、（これは私自身の経験上です…）「子どもは親がスマホを常に触っているのを見て」「ときどき子どもも触らせてもらっている」「当然、子どもは欲しくてたまらなくなる」「親もこんなに素敵なネットの世界を子どもにも享受させたいと実は思う」「親の管理のうえなら持たせてもいいかもしれない」というような親子間での駆け引きがあるのではと思います。



スマホの悪影響 ここからはスマホ等の悪影響の話になります。親子間での駆け引きの結果、子どもにスマホを持たせたします。家の中で家族は各々0 スマホとにらめこの時間が増えてしまうかもしれません。（これも私自身の経験上です…）家庭の中で身に付けたい社会性が身に付きません。

ネットの世界ではトラブルも隣り合わせです。

- **LINE がトラブル、いじめのきっかけに**…顔を合わせない単語、短文中心のやり取りは、ちょっとした言葉のチョイスで相手を傷付けたりトラブルの元になったりすることがあります。
- **Twitter で犯罪に巻き込まれ**…つぶやき合ううちに「友だち」になった人は「なりすまし」かもしれません。「裸の画像を送って」「会ってくれないと裸の画像をばらまくよ」こんな性犯罪に遭うこともあります。
- **オンラインゲームでクレジット停止**…ゲーム上で子どもたちはよく「ボイスチャット」などをします。そこでの言い合いが誹謗中傷にまで発展することも。また、親のスマホで夢中になるうち、ついつい課金してアイテムを買い漁り、突然数十万の請求が来るという事例もあります。



スマホなどの付き合い方は？ 県内でネット問題について多数講演をされている戸田俊文さん（真和中学・高校）は、ネット社会を賢く豊かに生きるために3つの必要な力があると話されます。**表現力・コミュニケーション力・想像力**です。正しい日本語を使い、文章の美しさにも感覚を持ち、人に会ったらきちんと挨拶をして会話ができること。親の職場の人に「母がいつもお世話になっています。母は今いないので、伝えておきます。」それぐらいのことが言えるまでは、スマホはまだ早いのでは、とのことです。ネットの世界では、一気に世界中の人が相手になります。家族、学校、親戚ぐらいまでの世界さえ不確かなうちは、世界中の人を相手に太刀打ちできないからです。それに、画面の向こうには生身の誰かがいるという想像力なしには、とても正しい判断はできません。



スマホ等のネット端末はあくまでも**ツール**として有効に、賢く利用したいものです。ますます発展するネット活用の時代を生きていく子どもたち。端末に振り回されて自分や人生を見失うことのないよう、土台となる**表現力・コミュニケーション力・想像力**を家庭では身に付けさせたいものです。スマホの魅力に負けない家族の触れ合いや体験、経験を大事にしてください。どんなにネット社会が発展しようと、スマホで子育ては決してできません。子どもは親の目や表情を見て、言葉を聞いて、抱きしめられた温かさを感じて、社会を学び成長していくものです。そして、スマホとの付き合い方のモデルは、わたしたち大人であることも忘れないようにしましょう。



チェックしてみませんか？

1 お子さんの「スマホあるあるチェック」

質問	はい
1 起きてますすることはスマホのチェック	
2 出かけるときはモバイル/バッテリーを必ず持つていく	
3 好きなものより映えるものを買いがち	
4 外で落としたりしたくないのは財布よりスマホ	
5 お風呂に入る時(トイレに行く時)もスマホを持っていく	
6 スマホを見ながら眠ってしまうことがある	
7 実際は何も起こっていないのに、スマホが光った(音が鳴った)気がする	
8 スマホが身近にないととても不安になる	

「はい」の数が多いほど、「スマホの使い過ぎ」の可能性がります。



熊本県「親の学びプログラム」の資料です。当てはまるものがありましたか？

この機会に、家庭のルールを見直しましょう。熊本県の「児童生徒のためのくまもと携帯電話・スマートフォン利用5か条」は次のとおりです。

- ① 約束しよう！夜10時から朝6時は使わない。
- ② 設定しよう！フィルタリングは当たり前。
- ③ 尊重しよう！画面の向こうの相手のこと。
- ④ 判断しよう！知らせていいこと悪いこと。
- ⑤ (わたしたちの1か条 ※各家庭のルール)

きっかけづくりに スマホ等との付き合い方を見直すための親子のきっかけづくりに、動画をご紹介します。アニメ仕立てで、数分のもので、QRコードを読み取って、YouTubeで視聴いただけます。家族みんなで考える時間を取っていただくと幸いです。併せて、ネットトラブルについてくわしく知ることのできる「スマホに弱い大人の教科書」もご紹介します。ご活用ください。



←こちら

「親の学び」オンデマンド講座
デジタル機器編
©熊本県教育委員会



←こちら

「スマホに弱い大人の教科書」
©熊本県警察